

令和8年度 第3学年 国語科 年間指導計画 予定年間授業時数：105時間

使用教科書：光村図書「国語3」

使用副教材：光村教育図書「光村の国語のワーク」浜島書店「学習漢字ノート」とうほう「楽しい文法」

教科の学習目標：

- ①目的や場面に応じ、社会生活に関わること等について相手や場に合わせて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- ②目的や意図に応じ、社会生活に関わること等について論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせると共に、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- ③目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせると共に、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・読解の基礎 ・小説「握手」 ・漢文「学びて時にこれを習ふ」 ・作られた「物語」を超えて【ICT活用】 ・論理の展開を意識して書こう ・俳句「俳句の可能性」「俳句を味わう」 ・言葉と漢字の学習 ・文法 活用しない自立語 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の豊かさを味わい、生き方を考える。 ・論理の展開や表現の仕方について評価し、自分の考えをもつ。 ・ものの見方や、自己認識を深める。 ・種々の文章を読み、自分の今までとこれからについて考える。 ・考えたことを論理的に表現する力を身につける。 ・伝統的な言語文化俳句に触れ、ものの見方や感じ方を豊かにする。 ・体験や知識を整理し、相手や目的を意識して話す。 ・言葉の意味の深さを知り、表現力の豊かさを理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・詩「挨拶」 ・小説「故郷」 ・論説「人工知能とその未来」 【ICT活用】 ・慣用句・ことわざ・故事成語 ・古文「古今和歌集 仮名序」「君待つと」「夏草」 ・詩「初恋」 ・話す、聞く「聞き上手になろう」 ・言葉と漢字の学習 ・文法 助詞・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章を読み取り、ものの見方を広げ、感性を豊かにする。 ・多種多様な熟語の読みを理解する。 ・それぞれの語彙や性質を知り、それを生かす力を養う。 ・語句や表現の効果に注意し、人間と社会との関わりについて自分の意見をもつ。 ・伝統的な言語文化としての和歌・俳諧の世界を味わう。 ・人間と社会との関わりについて、自分の意見をもつ。 ・話の流れを捉えて適切な質問をする力を身につける。 ・助詞・助動詞の意味や用法を理解する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・書く「経験を根拠にした意見文」【ICT活用】 ・随筆「温かいスープ」 ・小説・評論・古典の読解 ・話す、聞く、書く「三年間の歩みを振り返ろう」 ・「漢字のまとめ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験をもとに、思いを伝える文章を書く。 ・作者の思いや感じ方を捉え、自分らしく生き方を考えるきっかけをつかむ。 ・論説を通して、自分という存在についての考え方を深める。 ・小説、評論、古典それぞれの特徴に応じた読み方について学ぶ。 ・中学校での漢字学習の総まとめ。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	定期テスト 漢字テスト、書写
観点2（34%） 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	話し合い活動（スピーチ等） 聞き取りテスト 定期テスト 作文
観点3（33%） 主体的に学習に取り組む態度	言語を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	授業ノート、ワーク、漢字テスト 話し合い活動、授業態度（発言・提出物等含む）